

4. 「学習レリバンス」の構造・背景・帰結

(1) 問題関心と分析課題

本章では、「学習レリバンス」という観点を新たに導入し、その構造と規定要因、そして学業達成や意識に対する影響について検討する。ここで「学習レリバンス」とは、「子どもにとって学習がどのような意味や意義をもっているか」ということを意味している。学習の「意味や意義」は無限に多様であり得るが、本分析では特に「レリバンス」を構成する時間軸を重視することにより、「現在のレリバンス」と「将来的レリバンス」の2つを基本的な一対の類型として設定する。「現在のレリバンス」とは、子どもが学習を行っているその時点で感じられる「レリバンス」であり、学習そのものの「面白さ」を指している。また「将来的レリバンス」とは、学習を行っている時点よりもずっと後の時点で生じることが予測されている「レリバンス」であり、学習が将来何かに「役立つ」といった感覚を意味している。

この2つの基本類型から成る「学習レリバンス」に本分析が着目する理由は、次の3点にある。第1に、学習の「レリバンス」を「現在」と「将来」のいずれに見出すか、ということは、ここ数年の「ゆとり教育」対「学力低下」論争におけるもっとも重要な論点の1つとなっている。表3-18の整理に見られる通り、「現在」か「将来」かという対立軸は、「プロセス重視」か「結果重視」かという軸と重なる。「ゆとり教育」が学校の中で日々進行している教育のプロセスをより快適なものにすることで子どもの能動性を引き出そうとする立場に立つのに対し、「学力低下」論者は「少々退屈な学校であっても」その後の学習にとって基盤となる知識の理解や定着を優先することにより、その成果が長期的に「役立つ」ものであればいいと考える（広田 2002、28 頁）。このような対立を、単なる水掛け論に終わらせないためには、当の子供たち自身にとって、「面白感」としての「現在のレリバンス」と、「役立ち感」としての「将来的レリバンス」とがどのような関係にあり、どのように形成され、どのような帰結をもたらしているのかを経験的に検証する必要がある。

表3-18 「ゆとり教育」対「学力低下」論争における対立点

| | | |
|-----------------|---|----------|
| 現在のレリバンス | ⇔ | 将来的レリバンス |
| 「ゆとり教育（「生きる力」）」 | ⇔ | 「学力低下論者」 |
| 「プロセス重視」 | ⇔ | 「結果重視」 |
| 「面白さ」 | ⇔ | 「役立つ」 |

第2は、教育達成の説明モデルの拡張という側面からの着目である。教育達成の規定要因に関する従来の諸研究は、客観的変数としての家庭の経済的・社会的・文化的諸特性や

学校等の諸特性に加えて、保護者や本人の教育的・職業的アスピレーションという主観的変数をも分析に取り入れ、実際にそれらが重要な媒介効果を発揮していることを示してきた（たとえば直井・藤田 1978、片岡 2001）。しかし主観的変数として、アスピレーションのような手段的・戦略的な教育意識に限らず、子どもにとってより自然的・日常的な教育の感じられ方、いわば現象学的な教育意識としての「学習レリバンズ」にも注目する必要があると考える。

第3の着目理由は、国際的な教育政策の動向をふまえている。先進諸国では生涯学習の重要性への認識が近年ますます高まりつつあるが、個人が生涯にわたって学習を継続するか否かは、その個人をとりまく客観的環境だけでなく、学習への姿勢など主観的な要素に大きく左右されることがすでに指摘されている（たとえば OECD 1996、103 頁）。子どもがいかなる「学習レリバンズ」を感じているかということは、現時点での教育達成のみならず、将来にわたる長期的な学習行動をも規定すると考えられるため、重要な研究課題となると考えられる。

以上3つの観点から、本分析は「学習レリバンズ」に焦点を当て、その構造・背景・帰結について検討を行う。なお、「学習レリバンズ」に関する調査項目は 1989 年調査には含まれていないため、ここでの分析は 2001 年調査という単時点の結果に限られる。

(2) 分析結果

1) 「学習レリバンズ」の実態・構造の記述的把握

まず2つのレリバンズの単純な分布をみると、表3-19に示した通り、「現在のレリバンズ」については小5の6割、中2の7割強が否定している。逆に「将来的レリバンズ」については小5の7割強、中2の6割強が肯定している。つまり、勉強を「面白い」と感じる感覚よりも「役立つ」と感じる感覚の方が、全般に広範であるといえる。

次にこの2つのレリバンズの肯定・否定の組み合わせから4つの類型を作り、その分布を表3-20に示した。これをみると、「現在のレリバンズ」のみを肯定する者はいずれの学年でも少数であり、サンプルは「両方肯定」、「将来的レリバンズのみ」、「両方否定」の3つに大別されている。これは、「将来的レリバンズ」が「現在のレリバンズ」の前提条件であり、「現在のレリバンズ」単独ではほとんど成り立たないことを意味している。子供の間には勉強を「役立つ」と思えるか否かでまず断層があり、それに加えてもう一歩進んで「面白い」とまで思えるか否かでさらに分化が存在しているということになる。

同じ表3-20で小5と中2を比べると、中2では「両方肯定」が約15%減少し、逆に「両方否定」が約15%増加しているが、「将来のみ」の比率はあまり変化していない。すなわち、「現在のレリバンズ」よりも「将来的レリバンズ」は学年によって変動が少なく、児童生

徒の中に安定的に根付いているといえる。

ここから推論されるのは、最近の政策文書の中では日本の子供の中で「勉強が好き」と答える者の比率が他国より低いことがしばしば問題視されているが、これまで日本の国際的「高学力」を牽引してきたのは、そうした「好き」とか「面白い」とかの「現在のレリバンス」ではなく、むしろ「将来的レリバンス」だったのではないかと、ということである。

表3-19 学習レリバンスの分布 (%)

| | | とてもあてはまる | まああてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない | 無回答 | 合計 |
|----------|----|----------|---------|------------|---------|-----|-------|
| 現在のレリバンス | 小5 | 9.4 | 31.4 | 34.0 | 24.2 | 1.0 | 100.0 |
| | 中2 | 4.4 | 20.7 | 39.5 | 35.0 | 0.4 | 100.0 |
| 将来的レリバンス | 小5 | 44.8 | 31.9 | 14.3 | 6.5 | 2.6 | 100.0 |
| | 中2 | | | | | | |
| | 中2 | 29.0 | 36.4 | 20.8 | 12.8 | 1.0 | 100.0 |

表3-20 2つのレリバンスの組み合わせによる類型 (%)

| | 両方○ | 将来のみ | 現在のみ | 両方× | 合計 |
|----|------|------|------|------|-------|
| 小5 | 36.2 | 42.4 | 8.7 | 16.1 | 100.0 |
| 中2 | 21.4 | 40.2 | 4.0 | 30.0 | 100.0 |

次に、性別と NoStudyKids 変数によって学習レリバンスの分布がどのように異なるかを、表3-21 でみよう。小5については、NoStudyKids はそれ以外の子供よりも「両方肯定」が2割少なく「両方否定」が1割多くなっており、NoStudyKids において「学習レリバンス」が不全であることは確かである。ただ、「将来のみ」についてはむしろ NoStudyKids の方が1割多くなっており、ここでも日本の子供の中での「将来的レリバンス」の強固さがうかがわれる。なお小5については性別による違いは明確ではない。

表3-21 性別・NoStudy別 レリバンス類型の分布 (%)

| | | | 両方○ | 将来のみ | 現在のみ | 両方× | 合計 |
|----|----------|----|------|------|------|------|-------|
| 小5 | 非NoStudy | 男子 | 36.9 | 40.9 | 5.4 | 16.8 | 100.0 |
| | | 女子 | 44.4 | 38.3 | 6.1 | 11.2 | 100.0 |
| | | 全体 | 41.0 | 39.5 | 5.8 | 13.7 | 100.0 |
| | NoStudy | 男子 | 22.3 | 50.0 | 1.8 | 25.9 | 100.0 |
| | | 女子 | 21.2 | 52.9 | 5.8 | 20.2 | 100.0 |
| | | 全体 | 21.8 | 51.4 | 3.7 | 23.1 | 100.0 |
| 中2 | 非NoStudy | 男子 | 30.8 | 41.7 | 4.2 | 23.3 | 100.0 |
| | | 女子 | 18.8 | 44.6 | 4.6 | 31.9 | 100.0 |
| | | 全体 | 24.9 | 43.1 | 4.4 | 27.5 | 100.0 |
| | NoStudy | 男子 | 10.9 | 53.1 | 4.7 | 31.3 | 100.0 |
| | | 女子 | 8.8 | 46.9 | 1.3 | 43.1 | 100.0 |
| | | 全体 | 9.7 | 49.7 | 2.8 | 37.8 | 100.0 |

中2でも、NoStudy で「両方肯定」が多く「将来のみ」と「両方否定」が多いという点は同じである。中2が小5と異なるのは、性別による違いが明確化することである。いずれ

も男子と比べて女子の方が「両方否定」が多く、代わりに非 NoStudy では「両方肯定」、NoStudy では「将来のみ」について女子の方が少なくなっている。これは、女子中学生における学習レリバンスの空洞化を意味していると考えられる。ただ、後で見るように教育達成自体は女子の方が高いという事実がある。つまり中学生以上の女子は、一見男子よりも学校教育システムに適応しているようで、その意識においては決して学校的価値を内面化しているわけではないといえる。このような女子中高生のメンタリティを、たとえば永山（1999）は「いなし」と呼んでいる。

2) 「学習レリバンス」の背景

続いて、「学習レリバンス」がどのような要因によって規定されているかに関する分析結果に進もう。以後の分析では、4つの類型の中で少数である「現在のみ」は除外し、それ以外の3つの類型のみを取り上げることにする。表3-22と表3-23は、「両方否定」を基準としたときの「両方肯定」と「将来のみ」の規定要因を多項ロジスティック回帰によって分析した結果を、それぞれ小5と中2について示している。この分析では、投入する変数をだんだん増やしてゆく手法をとっている。表では、10%水準で有意な項目を薄い網掛け、5%水準以下で有意な項目を濃い網掛けで示してある。

まず2つの表を見比べると、総じて小5より中2の方が、また「将来のみ」よりも「両方肯定」の方が網掛けの部分が多く、有意な関連をもつ変数の数が多くなっている。

次に「両方肯定」、つまり勉強は役立つだけでなく面白いと感じている子供がどのような子供であるかをみると、表3-22の小5では、女子であること、NoStudyKidsではないこと、テレビをみる時間が少ないこと、現在の授業の理解度、算数や国語の授業タイプ、教師との良好な関係などが強く影響している。

同じ「両方肯定」を表3-23で中2についてみると、小5と異なるのは、第1に、女子の影響がむしろマイナスになること、第2に、「家の人に勉強をみてもらおう」、「母親が仕事をしていない」、親との良好な関係、生活習慣スコアなど、家庭生活関係の変数の影響力が強くなること、第3に、勉強時間が有意になる代わりに NoStudy 変数は有意でなくなること、第4に、小学校授業の「伝統性」の強さがプラスにきいていることである。この中で第2の点は「学習レリバンス」に対する社会階層の影響が学校段階が上がるほど明確になることを意味している。また第3の点は、小5ではわずかでも勉強していれば NoStudy と比べて「学習レリバンス」が向上していたのに対し、中2では勉強の量が重要になることを意味している。全体として、勉強は役立つだけでなく面白いと感ずることができる子供というのは、明確に統制された生活時間と秩序化された生活習慣、親の熱心な関与と良好な関係、高い授業理解度などを特徴としており、いわば【全面構造化】型の生活環境に組

表3-22 学習リハビリンスの規定要因: 多項ロジスティック回帰(数値はB、基準は「両方×1、小5」)

| 性別 家族 | 両方〇 | | | | | 将来のみ | | | | |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|-------|-------|-------|------|
| | モデル1 | モデル2 | モデル2' | モデル4 | モデル5 | モデル1 | モデル2 | モデル2' | モデル4 | モデル5 |
| 女子 | 422 | 425 | 638 | 629 | 294 | 268 | 269 | 353 | 366 | |
| ニューズ見る | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 勉強しなさいと言う | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 勉強をみてもらう | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| おかし作ってくれる | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 絵本読んでくれた | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 博物館行った | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| スポーツ新聞読む | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| スホーツ新聞読む | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| パチンコ行く | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 本・ない | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| コンピュータ・ない | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 父大卒・以外 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 母仕事・ない | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 勉強(分) | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| テレビ(分) | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| テレビゲーム(分) | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 遊び(分) | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| マンガ雑誌(分) | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 読書(分) | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 塾日数 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| NoStudy | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| NoStudy・非該当 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 生活時間 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 勉強(分) | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| テレビ(分) | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| テレビゲーム(分) | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 遊び(分) | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| マンガ雑誌(分) | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 読書(分) | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 塾日数 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| NoStudy | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| NoStudy・非該当 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 生活習慣 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| スコア | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 算数授業タイプ | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 教科書反復発展型 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 教科書反復型 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 教科書発展型 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 国語授業タイプ | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 教科書調べ反復発展型 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 教科書調べ反復型 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 教科書調べ発展型 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 授業理解度 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 現在 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 親は理解 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 先生は理解 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 学校いや | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| 意識 | 0.58 | 0.33 | 0.73 | 1.14 | 0.91 | -0.78 | -0.81 | -0.85 | -1.39 | |
| -2対数尤度(最終) | 1499.165 | 1270.758 | 1262.322 | 1172.893 | 1122.397 | 294 | 268 | 269 | 353 | 366 |
| カイ2乗 | 74.299 | 123.448 | 131.884 | 207.497 | 220.755 | 99+ | 38+ | 378 | 350 | 350 |
| Cox-Snell | 0.092 | 0.166 | 0.177 | 0.266 | 0.287 | 0.91 | 0.78 | 0.81 | 0.85 | 1.39 |
| Nagelkerke | 0.106 | 0.191 | 0.203 | 0.305 | 0.329 | 0.91 | 0.78 | 0.81 | 0.85 | 1.39 |
| McFadden | 0.047 | 0.089 | 0.095 | 0.150 | 0.164 | 0.91 | 0.78 | 0.81 | 0.85 | 1.39 |

注)†は10%水準、*は5%水準、**は1%水準、***は0.1%水準で有意。

同左

表3-23 学習リソースの規定要因:多項ロジスティック回帰(数値はB、基準=「両方×1、中2」)

| 性別 家族 | 両方〇 | | | | | 将来のみ | | | | | |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|--------|
| | モデル1 | モデル2 | モデル2' | モデル3 | モデル4 | モデル1 | モデル2 | モデル2' | モデル3 | モデル4 | モデル5 |
| 女子 | 0.999 | 0.999 | 0.999 | 0.999 | 0.999 | 0.999 | 0.999 | 0.999 | 0.999 | 0.999 | 0.999 |
| ニューズ見る | -0.94 | -1.04 | -1.40 | -1.62 | -1.08 | 0.70 | 1.00 | 0.78 | 0.87 | 0.80 | -0.285 |
| 勉強をみてもらう | 4.89 | 2.69 | 3.69 | 3.08 | 2.89 | 2.20 | 2.22 | 2.20 | 2.16 | 2.13 | |
| おかしな話でくれた | 1.86+ | 1.91+ | 1.81 | 1.37 | 1.06 | 1.60+ | 1.27 | 1.10 | 0.82 | 0.67 | |
| 博物館行った | 2.60 | 2.67 | 2.23 | 1.52 | 1.32 | 0.62 | 0.50 | 0.39 | 0.22 | 0.32 | |
| 又ポーツ新聞読む | 0.61 | 0.87 | 0.83 | 0.57 | 0.47 | 0.38 | 0.32 | 0.19 | 0.07 | 0.00 | |
| パソコン行く | -0.131 | -0.041 | -0.22 | 0.72 | 0.64 | 0.92 | 0.87 | 0.87 | 0.77 | 0.73 | |
| 本・ない | -0.337 | -0.298 | -0.283 | -0.209 | -0.41 | -0.74 | -1.24 | -1.17 | -0.74 | -0.77 | |
| コピエータ・ない | 1.13 | 1.57 | 1.54 | 2.23 | -0.138 | 2.92+ | 3.14+ | -1.13 | 3.00+ | 3.00+ | |
| 父大卒・以外 | -0.185 | -0.094 | -0.133 | -0.191 | -0.246 | -0.31 | -0.98 | -1.13 | -1.51 | -1.57 | |
| 母仕事・ない | 4.70 | 3.90+ | 3.87+ | 4.15+ | 3.87+ | 2.65 | 2.60 | 2.62 | 2.88 | 3.19+ | |
| 勉強(分) | 0.09 | 0.09 | 0.07 | 0.06 | 0.06 | 0.04 | 0.04 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | |
| テレビ(分) | 0.06 | 0.06 | 0.06 | 0.06 | 0.06 | 0.04+ | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | |
| テレビゲーム(分) | -0.01 | -0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | -0.01 | -0.01 | -0.01 | -0.01 | -0.01 | |
| 遊び(分) | -0.02 | -0.01 | -0.01 | -0.03+ | -0.03 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | |
| マンガ雑誌(分) | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| 読書(分) | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| 塾日数 | 1.01 | 1.13 | 0.98 | 0.98 | 0.89 | -0.84 | -0.77 | -0.65 | -0.69 | -0.67 | |
| NoStudy・非該当 | 2.71 | 1.81 | 1.79 | -0.33 | -0.27 | 0.29 | -0.13 | -0.38 | -0.34 | -0.28 | |
| 生活時間 | 2.96 | 3.05 | 2.50 | 2.50 | 2.66 | 1.28+ | 1.28+ | 1.26+ | 1.21 | 1.22 | |
| 生活習慣 | 2.13 | 2.13 | 2.38 | 2.38 | 2.25 | 1.26+ | 1.26+ | 1.26+ | 1.21 | 1.22 | |
| 小学校授業 | 2.86 | 2.86 | 2.38 | 2.38 | 2.25 | 0.89 | 0.89 | 0.89 | 0.77 | 0.72 | |
| 伝説的性 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.37 | 0.37 | 0.37 | 0.51 | 0.51 | |
| 「新学力」性 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | |
| 成績(5段階) | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 1.07 | |
| 数学授業 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 1.07 | |
| 反復発展型 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 1.07 | |
| 教科書宿題発展型 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 1.07 | |
| 伝説的性 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 1.07 | |
| 新学力親型 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 1.07 | |
| 現在 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 1.07 | |
| 授業理解度 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 1.07 | |
| 先生は理解 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 1.07 | |
| 意識 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 1.07 | |
| 学校いや | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.96 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 0.95 | 1.07 | |
| -2対数尤度(最終) | 2120.286 | 1884.644 | 1875.123 | 1793.895 | 1764.024 | 1714.716 | 314.545 | 314.545 | 314.545 | 314.545 | |
| カイ2乗 | 156.238 | 239.193 | 248.714 | 258.787 | 284.148 | 284.148 | 0.278 | 0.278 | 0.278 | 0.278 | |
| CoxとSnell | 0.134 | 0.211 | 0.218 | 0.233 | 0.253 | 0.288 | 0.317 | 0.317 | 0.317 | 0.317 | |
| Nagelkerke | 0.152 | 0.240 | 0.249 | 0.265 | 0.288 | 0.317 | 0.317 | 0.317 | 0.317 | 0.317 | |
| McFaddes | 0.068 | 0.113 | 0.117 | 0.126 | 0.139 | 0.155 | 0.155 | 0.155 | 0.155 | 0.155 | |

(注)+は10%水準、*は5%水準、**は1%水準、***は0.1%水準で有意。

み込まれている子供であるという印象を受ける。そしてそのような【全面構造化】型の生活環境とは、やはり社会階層的には上位層の文化と親和的であることは否定できない。

それでは、「将来のみ」の「学習レリバンズ」、すなわち勉強は将来役立つかもしれないが面白くはないと感じている子供とはどのような子供なのだろうか。表3-22で小5についてみると、親がニュースを見ること、親が「勉強しなさい」と言うこと、算数の授業タイプなどが強く影響している。さらに表3-23で中2をみると、小5と比べて影響が明確になっているのは、親がパチンコに行かないこと、家にコンピュータがないこと、小学校授業の「伝統」性、数学の授業タイプ、教師との良好な関係などである。親が「勉強しなさい」と言うことは中2でも強く影響している。「両方肯定」と比べると、勉強時間やテレビ時間、生活習慣などの影響が弱いことが目立つ。このように、親からの強い「勉強」圧力、パチンコに行かないけれどコンピュータもない「地味で実直な」家庭文化、「両方肯定」に比べて構造化・秩序化されていない生活、先生との良好な関係など、いわば【準構造化】型の生活環境を特徴としているのが、この子供たちである。このような、できすぎでもないが逸脱でもない、限界はあるが前向きでまじめな、「中堅」とでもいえるような層が、実は日本社会の中で量的にも質的にも重要な存在なのではないか、と感じられる。

3) 「学習レリバンズ」の帰結

次に、こうした「学習レリバンズ」が、子供の学業達成や意識にいかなる帰結をもたらしているかを検討する。

まず、学業達成についてみてみよう。学業達成を「学習レリバンズ」の類型別に示した表3-24によれば、小5と中2、算数数学と国語、NoStudyとそれ以外のいずれについても、「両方肯定」がもっとも点数が高く、続いて「将来のみ」、もっとも低いのが「両方否定」という関係が見出される。

表3-24 学習レリバンズと学業成績(一元配置分散分析) (点)

| | | 算数・数学 | | | 国語 | | |
|----|------|-------|----------|---------|------|----------|---------|
| | | 全体 | 非NoStudy | NoStudy | 全体 | 非NoStudy | NoStudy |
| 小5 | 両方× | 65.0 | 67.4 | 60.4 | 65.9 | 70.6 | 57.7 |
| | 将来のみ | 69.3 | 72.3 | 62.1 | 70.9 | 73.6 | 64.4 |
| | 両方○ | 71.9 | 73.3 | 63.6 | 75.1 | 76.3 | 67.9 |
| 中2 | 両方× | 59.9 | 65.7 | 45.8 | 65.1 | 67.3 | 59.6 |
| | 将来のみ | 64.3 | 68.9 | 51.1 | 67.2 | 68.7 | 62.7 |
| | 両方○ | 70.8 | 72.4 | 57.3 | 72.0 | 72.5 | 68.2 |

注)太い破線は異なる等質サブグループの境界、細い破線は重複する等質サブグループの境界。

こうした学業達成の規定要因を検討するために、中2について数学と国語の学業達成を従属変数とした重回帰分析を行った結果を表3-25に示した。「学習レリバンズ」が「両方肯定」ないし「将来のみ」であることは、これらのみを説明変数として投入したモデル0

表3-25 学業達成および生涯学習促進的自己意識の規定要因：重回帰分析(数値はベータ、中2)

| 学習リハツ | 学業達成・数学 | | | | | | 学業達成・国語 | | | | | | 自己意識 | | |
|------------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|
| | モデル0 | モデル1 | モデル2 | モデル2' | モデル3 | モデル4 | モデル0 | モデル1 | モデル2 | モデル2' | モデル3 | モデル4 | | モデル5 | モデル6 |
| 性別 | 0.080 | 0.038 | 0.030 | 0.006 | -0.030 | -0.030 | 0.070 | 0.008 | 0.008 | 0.008 | 0.008 | 0.008 | 0.008 | 0.008 | 0.008 |
| 家族 | -0.033 | -0.034 | -0.034 | -0.011 | -0.034 | -0.026 | 0.015 | 0.007 | 0.003 | -0.015 | -0.035 | -0.043+ | -0.024 | -0.028 | 0.047 |
| 男子 | 0.022 | 0.011 | 0.003 | -0.040 | -0.005 | -0.009 | -0.009 | -0.008 | -0.012 | -0.016 | -0.015 | -0.008 | 0.10 | -0.065+ | 0.047 |
| 二ユーヌ見る | -0.039 | 0.019 | 0.047+ | 0.11 | 0.11 | 0.08 | 0.030 | 0.048 | -0.048 | -0.049 | -0.039 | -0.038 | -0.030 | -0.038 | 0.051 |
| 勉強してみてもらう | 0.021 | -0.056+ | 0.059+ | -0.051+ | 0.032 | -0.032 | 0.048 | 0.039 | 0.039 | -0.002 | -0.018 | -0.014 | -0.033 | -0.023 | 0.023 |
| おかし作ってくれる | -0.031 | 0.047 | 0.038 | 0.000 | 0.042 | 0.028 | 0.015 | 0.039 | 0.037 | 0.058+ | 0.061+ | 0.057+ | -0.057+ | 0.051 | 0.023 |
| 絵本読んでくれた | 0.042 | 0.025 | 0.021 | 0.042 | 0.032 | 0.028 | 0.015 | 0.048 | 0.051 | 0.055+ | 0.051+ | -0.042 | -0.014 | 0.035 | 0.035 |
| 博物館行った | -0.041 | -0.039 | -0.040 | -0.040 | -0.034 | -0.035 | -0.018 | -0.018 | -0.006 | 0.009 | 0.011 | 0.016 | 0.050 | 0.023 | 0.023 |
| スボーン新聞読む | -0.055+ | -0.005 | 0.000 | 0.002 | 0.009 | 0.005 | 0.016 | 0.006 | 0.006 | 0.009 | 0.024 | 0.024 | 0.005 | 0.008 | 0.008 |
| パソコン行く | 0.046 | 0.036 | 0.035 | 0.020 | 0.008 | 0.009 | -0.013 | 0.074 | 0.058+ | 0.052+ | 0.038 | 0.026 | 0.024 | 0.007 | 0.007 |
| 本・ある | 0.021 | 0.030 | 0.030 | 0.008 | 0.008 | 0.009 | 0.072 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 |
| コピエ・ある | 0.021 | 0.030 | 0.030 | 0.008 | 0.008 | 0.009 | 0.072 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 |
| 父大卒 | 0.021 | 0.030 | 0.030 | 0.008 | 0.008 | 0.009 | 0.072 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 | 0.010 |
| 母仕事・ある | -0.004 | -0.006 | -0.005 | 0.001 | -0.004 | 0.004 | 0.030 | 0.029 | 0.029 | 0.029 | 0.029 | 0.029 | 0.029 | 0.029 | 0.029 |
| 勉強(分) | 0.022 | -0.010 | -0.025 | -0.044 | -0.006 | -0.009 | 0.034 | 0.052 | 0.052 | 0.052 | 0.052 | 0.052 | 0.052 | 0.052 | 0.052 |
| テレビ(分) | 0.021 | -0.030 | -0.018 | -0.009 | -0.006 | 0.001 | 0.009 | 0.017 | 0.017 | 0.017 | 0.017 | 0.017 | 0.017 | 0.017 | 0.017 |
| テレビゲーム(分) | 0.030 | -0.021 | -0.021 | -0.017 | -0.034 | -0.031 | -0.021 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 遊び(分) | 0.021 | -0.014 | -0.009 | 0.004 | -0.010 | 0.014 | 0.006 | 0.017 | 0.017 | 0.017 | 0.017 | 0.017 | 0.017 | 0.017 | 0.017 |
| 学力継続(分) | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 塾日数 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 塾 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| NoStudy | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| NoStudy・該当 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 生活習慣 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 小学生授業 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 「伝説」性 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 「新学力」性 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 成績(5段階) | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 反復発展型 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 反復型 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 教科書宿題発展型 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 伝説新学力観融合型 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 伝説型 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 新学力観型 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 現在 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 親は理解 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 先生は理解 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 学校いや | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 本人教育年数希望 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 親教育年数希望 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 「有名学校」 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 学業達成 | 0.008 | 0.006 | -0.001 | -0.001 | -0.010 | -0.004 | -0.006 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 | 0.051 |
| 調整済みR2乗 | 0.023 | 0.124 | 0.293 | 0.298 | 0.345 | 0.462 | 0.482 | 0.020 | 0.133 | 0.221 | 0.221 | 0.298 | 0.391 | 0.390 | 0.419 |
| 推定値の標準誤差 | 25.389 | 23.760 | 21.157 | 21.084 | 20.391 | 18.436 | 18.417 | 19.334 | 17.638 | 16.780 | 16.773 | 16.029 | 14.830 | 14.803 | 14.205 |
| F値 | 15.958 | 11.589 | 19.779 | 19.424 | 20.589 | 26.266 | 24.136 | 13.722 | 12.337 | 13.729 | 13.244 | 16.658 | 19.805 | 18.001 | 13.582 |

(注)†は10%水準、*は5%水準、**は1%水準、***は0.1%水準で有意。

では学業成績に有意な影響を与えている。しかし、「両方肯定」は他の説明変数との関連が強いため、他の変数を追加的に投入するに従って、その影響力は顕著に後退し、特に数学ではモデル2以降「両方肯定」は有意ではなくなっている。それに対して「将来のみ」の影響力は、投入する変数が増加しても強固に残っている。「学習レリバンス」の最終的な効果を、もっとも包括的なモデル6でみると、数学については学習レリバンスの効果は弱くアスピレーションの効果が強いが、国語については学習レリバンスがアスピレーションに匹敵する効果をもっていることがわかる。

なお、他の変数で学業達成に強く影響しているのは、女子であること、親が「勉強しなさい」と言わないこと、家にコンピュータがあり父学歴が高いこと、生活時間の構造化、特に塾日数、遊び時間、NoStudyか否か、授業理解度、親と本人の教育アスピレーションなどである。小学校時の授業は「伝統」性が強い方が中学時の達成を引き上げ、「新学力」性が強いほど引き下げている。また現在の数学授業が「反復型」であると数学の達成が上がり、現在の国語授業が「新学力観型」であると国語の達成が向上している。

続いて、将来の生涯学習を促進すると考えられる意識の形成に「学習レリバンス」が影響しているかどうかについてもみてみたい。従来の研究では、問題解決能力や自己肯定感などが生涯学習を促進することが指摘されている。そこで今回の調査票から、そうした意識に近い項目として、「やると決めたことは最後までやり通す」「むずかしいことにぶつかった時こそ、がんばるほうだ」「たいていのことはうまくこなすことができる」という3つの項目を選び出し、それらの肯定度を加算して「生涯学習促進的自己意識」スコアを作成した。この3項目についてのクロンバッハの α 値は0.6344で、内的一貫性はかなり高いといえる。この生涯学習促進的自己意識を従属変数とした重回帰分析の結果は、先の表3-25の右端の欄に示してある。それによると、「学習レリバンス」のうち「両方肯定」は有意に正の影響を及ぼしているが、「将来のみ」は有意な影響を及ぼしていない。それ以外に有意な効果をもつ変数は、男子であること、家に本がたくさんあること、小学の頃の成績と現在の授業理解度、親や先生との良好な関係などである。また親が「勉強しなさい」と言うことは、ネガティブな効果をもっている。

(3) まとめと考察

以上の分析結果から、どのようなことが言えるだろうか。結論を、いくつかの「格言」の形でまとめてみた。

まず第1の格言は、<「役立ち」なくして「面白」なし>ということである。すなわち、将来的レリバンスが現在のレリバンスの前提条件となっているということである。

第2の格言は、<生活環境なくして「面白」なし>である。子供が将来的レリバンスに

加えて現在のレリバンスを感じる事ができるか否かは、子どもへの親の関与や生活時間の構造化を背景とした学習の「熟達化」と密接に関係している。

第3の格言は、<「役立ち」だけでは「面白」に劣る>ということである。将来的レリバンスは、まったくレリバンスがない状態よりは学業達成を向上させるが、その効果は現在のレリバンスが加わっている場合よりは限定的である。また生涯学習促進的の自己意識の形成に対しても、将来的レリバンスだけでは不十分で、現在のレリバンスが不可欠である。

しかし他方で、「将来的レリバンス」の重要性も捨てたものではない、ということも、第4の格言、<弱いがしぶとい「役立ち」効果>は表わしている。将来的レリバンスは、学年やNoStudyKidsか否かを超えて子供たちの間に広く根付いている。またそれだけでなく、学業達成に対する将来的レリバンス固有の効果は、他の多くの変数をコントロールした上でも残るといふ根強さをもっている。

そして第5の格言は、<はっぱかけるは逆効果>である。言葉だけで「勉強しなさい」という圧力は、将来的レリバンスを生み出すことはできるが、それ以上の現在のレリバンス、学業達成、生涯学習促進的の自己意識のいずれにも否定的な影響を与える。ただしこの点は、たとえば学業達成が高い子供には親が「勉強しなさい」という必要がない、といった、逆の因果関係を意味しているとも解釈できる。

最後は、<科目と学年に応じた授業が大事>ということである。国語と算数数学では、授業タイプや学習レリバンスとの関係性が異なっている。また少なくとも小学校の頃の授業は比較的伝統的な性質を持っている方が、中学生になってから、今回の学力調査で測られるような形での学業達成には効果があるようである。

以上の結論を、本分析の最初に挙げた3つの着目点に即して整理し直すと、次のようになる。まず、「ゆとり教育」対「学力低下」論争に対するインプリケーションとしては、次のことがいえる。すなわち、「ゆとり教育」が重視している「現在のレリバンス」や面白感、は、「将来的レリバンス」ないし役立ち感や学習の習熟化を基盤として初めて成り立つものであり、そうした基盤がないままに「面白さ」だけを重視するような教育改革は危うさをもつといえる。現在、教育政策は、「ゆとり教育」一辺倒ではなく「学力向上」への力点を強めているが、今回の分析は、そのような方向性を支持する結果となった。ただ、文部科学省の動きは、経験的な分析に基づくものではなく、世論に追随した不安定な動きであり、慎重にその行方を見守る必要がある。

第2に、教育達成の説明モデルに関しては、「学習レリバンス」という変数が科目によってはアスピレーションに匹敵する効果をもつということがいえる。

第3に、生涯学習に関しては、「学習レリバンス」、特に「現在のレリバンス」が、将来の生涯学習を促進する態度の形成に対して明確に影響しているといえる。

最後に、本分析の結果を解釈する上で留意すべき点を述べておきたい。

まず、本分析で明らかになった将来的レリバンスと現在のレリバンスの関係性は、これまでの日本の教育のあり方の中でそうなっているということであり、他の関係性が成立しえる可能性までを全く排除するものではない。

第2に、本分析における「将来的レリバンス」とは、学習が将来どのような形で役立つかという具体的なイメージを欠いた、「勉強しなさい、さもないと何か恐ろしいことがおきるよ」的な漠然たるプレッシャーに基づいたものであるように見受けられる。

第3に、本分析における「教育達成」もまた、テストで測ることができる「旧学力観」的なものに限定されていることはいままでもない。

これらの留意点の範囲内におけるものではあるが、それでも先にいくつかの格言として示した本分析の知見の有効性が損なわれるものではない。

5. 分析全体のインプリケーション

さて、2節から4節までの分析結果は、それぞれに明確な政策的・実践的インプリケーションに直結するものであった。最後に改めてそれらを集約し、しめくりとしたい。

まず2節の分析は、NoStudyKidsのような at risk group が、量的に増加し質的にもリスクをいっそう増大させているという事実を如実に示していた。現在の教育政策は、「できる子」に重点を置いた学力向上策に力点を移しつつあるように見えるが、それよりも、NoStudyKidsのような層をどうするかということが、はるかに重大な社会的問題であることは疑いえない。「自己責任」の名の下に、結果的にこうした層が社会的に排除されていく事態は、何としても防ぐべきである。

続く3節の分析は、子供の教育達成を向上させ、かつ子供の間で格差をできるだけ小さく抑えるという観点からもっとも効果的な授業方法とは、「伝統的」とか「新学力観的」とかの二分法で把握できるものではなく、その両者が学年により、また教科によって独特の仕方で融合したような方法であることを示していた。このような分析結果は、特定の理念に基づいた教育方法を、学年や科目を問わず一枚岩的に押しつけるのではなく、学年段階に応じて、また教科に応じて、もっとも適切な授業方法を、経験的分析に基づいてデザインしてゆくことがぜひとも必要であることを意味している。

そして4節の分析は、大人側の勝手な思いこみや期待のみに基づいて政策を実施するのではなく、学習が子供自身にとってどのように受けとめられているか、言い換えれば学習が子供自身にとっていかなるレリバンスを持っているのか、あるいはいないのかということなどを常にモニターし、政策に反映させてゆくことの必要性を示していた。